



どりーま通信

第33号 2020年 12月発行

特定非営利活動法人 どりーまサービス

TEL 088-626-3237 FAX 088-611-7035

主な紙面

- 福寿草オープンP2
- 訪問看護躍動P3
- インフォーマルP4
- 事業所だよりP5～P9
- 体操教室P10

新たな生活様式に寄り添う

理事長 山口 浩志

新型コロナウイルスが人間の健康、社会、経済に甚大な影響を及ぼしています。WHOでは「健康＝ウェルビーイング」と憲章で定義付けしていますが、健康とは病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にもすべてがウェルビーイングな状態にあることを意味し、幸福度とも結びつきます。

さて、我が国の子どもの幸福度の総合順位を調べてみると、38か国中20位でした。子どもが住む場所として順位の高い国として、オランダ、デンマーク、ノルウェーがあげられていました。理由は、子どもたちにとって過ごしやすい環境が提供できているかどうか鍵のようです。

一方高齢者では、コロナウイルスの感染拡大による外出自粛などの生活の変化で、在宅や施設等では外出や面会を制限され、妄想やうつ気味の症状が増えたり、認知機能が低下する人も増えているとの調査結果が出ています。

そこで、介護施設等ではオンラインやガラス越しの面会が一定の効果があるほか、在宅の人は運動や栄養に気をつけることが大切だとし、対策を練っています。

ウィズコロナといわれるように、今後コロナ禍と共存して生きていく社会が求められる中で、私たちの生活や介護のあり方に関して、新しい行動様式に添えるようなケアのあり方を探していきたいと思っています。



新型コロナウイルス感染症による危機を乗り越えるために ～正しく理解して正しく恐れよう～



公益社団法人 徳島県看護協会 地域ケア部門 統括 邊見知恵子



2019年12月、中華人民共和国の湖北省武漢市から端を発した新型コロナウイルス感染症は、世界中を駆け回って私たちを震撼させ、まさに2020年は歴史的な年になりました。この感染症は、発症から間もない無症状の時期の感染性が高いこと、高齢者や基礎疾患をもつ方は重症化のリスク因子が高いことが対応を困難にしております。多くの人々が感染予防に最善の注意を払っていると思いますが、中でも保健・医療福祉にかかわる方々は対象の殆どが高齢者や基礎疾患を持つている方であるため、その心労はとて大きく、感謝とエールを送りたいと思います。

徳島県看護協会は県民の健康な生活の実現のため、行政および関係機関と連携して対応に当たっております。

感染防止対策の徹底のために、まずは「ウイルスのいるところ、感染の仕方」を理解した上で対応策を徹底しましょう。ウイルスは飛沫の中、それが落ちたところに触った手から、ひとの口・鼻・目の粘膜を介して侵入してきます。飛沫の排出・浸入を避けるためにマスクを着用し、3密を回避する、手を介しての感染防止のため手指衛生を徹底する。まずはこの基本的な3点を徹底しましょう。正しく理解し、正しく恐れましょう！

NEW

サービス付き高齢者向け住宅
福寿草オープン!

現に努めていきたいと思いま



「華」ある玄関風景

「華」ある玄関風景
尊重し
地域に
根ざし
た介護
サービス
を受け



松原顧問弁護士あいさつ



職員より誓いの言葉

開所式典



(医)康仁会 理事長夫人あいさつ

「これまで松村光博院長先生や恵美子夫人が大切にしてこられた「利用者様の人格を尊重し地域に根ざした介護サービス」を受け

及びご家族方々もご出席いただきました。

6月27日(土)に開催いたしました式典には法人役員、他に、地域の民生委員や町内会役員、また利用者様

決意

「「これまでも松村光博院長先生や恵美子夫人が大切にしてこられた「利用者様の人格を尊重し地域に根ざした介護サービス」を受け

これまで23年間に渡るNPO活動や介護の実践を活かして、充実した運営を心がけると共に、医療介護連携の充実のためにも、松村内科胃腸科さん初めとする、地域との円滑な医療介護連携を心がけ、常に「信頼される介護」「断らない介護」を目指していきたいと思います。

共感と信頼を築く

す。』と山口理事長からあいさつがありました。

この度、「福寿草」を7月1日より、当法人が運営させていただくこととなりました。
「コロナ禍ということもあり、ささやかにではありますが、福寿草にて開所式典を開催いたしました。
式典には、法人の役員はじめ、地域の民生委員や町内会役員、また利用者様やご家族の方等にもご出席いただきました。今後は、現在入居されている方々への支援はもとより、地域に対する福祉貢献を実践していきたいと思います。

食支援に心込めて

管理栄養士 濱口ひとみ



やりがいのある毎日

利用者様から「今日の献立はよかった。」「美味しかったので、全部食べれたよ。」などの言葉が励みだそうです。

かして、利用者様の栄養管理全般のマネジメントを任せられている存在です。
濱口さんが常に心がけていることの1つは、「旬」の食材をご提供することだそうです。そこにおひとりおひとりの生活観や人生観を楽しめる食事が味わえるように工夫しています。また、季節感を忘れることのないよう行事食で表現したいという信念があります。

これまでの医療現場における栄養士の経験を活かして、利用者様の栄養管理全般のマネジメントを任せられている存在です。

デイサービスセンター
夢フレンド初めての
福祉モデルに挑戦

生活相談員 坂東 敦子



1日1日のケアを大切に

「これまでではデイサービス単独型で勤めていたそうですが、今は「サ高住」併設型デイなので、初めはとまどいもあったそうです。違いを考えた時、住宅で住んでいる方がほとんどなので、生活の様子が生近に感じられ、一喜一憂が見えるだけに、関わりを深く感じるそうです。
おひとりおひとりの個性を活かしたプログラムで、時間を過ごしてもらえるように、毎日が勉強です、と言われます。
また、今後は介護支援専門員としての活躍も期待できます。

今まではデイサービス単独型で勤めていたそうですが、今は「サ高住」併設型デイなので、初めはとまどいもあったそうです。違いを考えた時、住宅で住んでいる方がほとんどなので、生活の様子が生近に感じられ、一喜一憂が見えるだけに、関わりを深く感じるそうです。

か ん ぞ

訪問看護躍動

令和2年10月より、ひだまり訪問看護ステーションが法人内に仲間入りすることになりました。今後は2つの訪問看護ステーションを活かした新たな二歩を踏みだしてまいります。

どリーまあ
訪問看護ステーション

命と向き合うケア



管理者
児島 恭子

どリーまあ訪問看護ステーションでは、経営母体のNPOの理念でもある「たすけあいの精神」と、法人理念の「寄り添うケア」に基づき、利用者様が在宅で、健康で安心して過ごせるようなご支援を目指し、高齢者へのケア、難病、身体障がい者、小児疾患の子供さんなどに対しての支援に取り組んでいるところです。

現在、日常的にケアが必要とされる子供さんの訪問が増え、子供さんやご家族に満足して頂けるようなケアに心がけ、リハビリスタッフとも協働で援助をさせていただいております。これからもう支援を行っていきたいと思っています。



頼りがいある医療チーム

足して頂けるようなケアに心がけ、リハビリスタッフとも協働で援助をさせていただいております。これからもう支援を行っていきたいと思っています。

心身共に生活の向上

理学療法士 遠藤 浩治



加齢と共に日常生活動作を維持する為の筋力は、年々低下してきます。筋力の低下割合は人によって違いますが、理学療法士はひとり一人に合ったリハビリテーションを提供する事で、筋力の維持・向上を目指し、日常生活を取り戻すお手伝いをしております。

また、利用者様に寄り添うことで、利用者様のやる気を引き出し、効果的なリハビリテーションを実施出来るよう、日々心がけております。今まで出来なかった事が出来るようになり、利用者様が笑顔になられた時、理学療法士にとって本当に良かったと実感致しました。

豊かな暮らしを目指して

作業療法士 濱田 真理



人は誰でも作業しています。食べたり、入浴したり、人の日常生活に関わる全ての諸活動を作業しています。そして作業はあなたと社会をつなぐ接点です。日常生活に支援を必要とする全ての人が社会のつながりを「作業」を通じて作ります。そしてその作業を支援していくのが、作業療法士です。

社会のなかで豊かに生きるための生活の実現を目指して、散歩など、外に出る練習、地域コミュニティへの参加の支援、実際の仕事場に近い環境での就労支援、福祉用具を使用して趣味やレジャーを楽しむ援助、生きがいを持ち笑顔で暮らせるようにとにもに生きる支援を行ってまいります。

ひだまり
訪問看護ステーション

新たな第一歩

所長 片岡 雅美



平成18年4月1日にひだまり訪問看護ステーションはスタートいたしました。

訪問看護を始めるきっかけは、ケアマネジャーをしていた頃、もつと患者さんの生活に寄り添った看護がしたいとの思いがありました。在宅療養生活をされている、患者様は、お一人おひとり家族の状況また経済状況などが違います。私たちは、ご自宅に訪問し二人ひとりに応じた看護をしてきました。また、入院中だけのリハビリで終わりではなく、在宅療養生活でも、QOL維持向上のため継続したリハビリが重要です。ひだまり訪問看護ステーションでは、看護の二環として、理学療法士等による訪問看護を行っております。人材育成、教育にも力を注いでまいりました。この度、どリーまあサービスに加えていただくこととなりました。理念「寄り添うケア」を念頭に入れスタッフ一同頑張っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

テーマは自立支援

理学療法士 長岡 悠人



日常生活を送るうえで「以前できていたことができない」「不安が多くて生活することに自信がない」など悩みはたくさんあるはずです。そういった声に寄り添いながら必要な動作や道具、環境を見出し適切なリハビリテーションを実施することで、慣れ親しんだ自宅での生活を続けられるように支援しています。また積極的に看護師とも情報交換や連携を行い、体調を考慮した最適な方法手段を選択するように心がけています。私たちは疾患や症状だけに捉われず様々な角度から一人一人を見つめ、より良い生活が送れるようなりハビリテーションを提供していきます。

出会い ふれあい ささえあい

クリーニングの仕事をして60年以上、
続けてきた山口晴行さん
です。

高齢のため、車の運転が
不安になりましたが、「ク
リーニングの仕事が続け
たい」と希望があり、山口
さんの生きがいでもあるク
リーニングと買物で有償
ボランティアで橋本さんが
お手伝いさせてもらっこと
になりました。共通の趣味

原点は出会いと感動



笑顔の山口さんと橋本さん

利用会員 山口 晴行さん

住民参加型在宅
福祉サービス
有償ボランティア

協力会員

橋本 博美 さん
児島 共子 さん

原点は出会いと感動



同級生コンビ奮闘(児島さん(左))

る限りボランティア活動をしたいと言ってくださいました。

お二人の笑顔とパワーが周りの人をいつも笑顔にしてくれています。

口さんのサポートをさせてもらいました。山口さんも「2人が来てくれたら楽しい。」とおっしゃっています。

ボランティアの橋本さんは「ボランティア活動を通して、いろいろな人と出会えることが楽しいし、頼ってもらえることが嬉しい。この活動にやりがいを感じています！」

児島さんも、「ボランティアの楽しさを言葉で伝えるのは難しい。どうにか伝えたいけど、これだ！という言葉が見つからないのが悔しい！活動をしていて一番良かったのは、人生の先輩の話が聞けて勉強になったこと。」とボランティアの楽しさを伝えてくれました。

「山口さん、お喋りが弾み、お二人が仲良くなるのにそんなに時間はかからなかったそうですね。」

その後、山口さんは通院が必要になった時にも、ボランティアさんに付き添ってほしいとご要望をいただき、橋本さん、児島さんのお二人のボランティアとご家族と一緒に山口さんのサポートをさせてもらいました。

山口さんも「2人が来てくれたら楽しい。」とおっしゃっています。

ふれあいとぬくもりに感謝



Care worker



ヘルパーステーション
たすけあい沖洲



未来を見据えた眼差し

援させてもらっています。

訪問介護は、女性はもちろんですが、男性にとってもとてもやりがいのある仕事です。

私たちと一緒に働いてくれる仲間を募集しています!!

ケアを通して
成長し続ける

サービス提供責任者 福居めぐみ

けあいはいは、事業所の名前のとおり、
口っています（笑）「職員同士のコミュニ
ョンが円滑なため、職員同士が助け
合ったことがあった時や、シフト
。支えあって仕事をしています。ま
合って、利用者様を最期まで支えて
に私たちは自信があります！
介護は、一人ひとりの家にお伺いさせ
たくので、利用者様の家での生活を大
ています。その方の家での生活のペー
スや生活に合わせながら、一日でも
長く家での生活をサポートするこ
とが私たちの仕事です。私たち、た
すけあいのスタッフは、訪問介護の
仕事に誇りを持って仕事をしていま
す。訪問をして一人ひとりと向き
合ってサポートさせてもらうので、
施設での介護職員よりも、深い関係
が築くことができていると思いま
す。これも、訪問介護のやりがいの一
つだと思います。

助けあいをつなげる

サービス提供責任者 福居めぐみ

Community

デイサービスセンター 夢ハウス

チーム力の 向上を目指して

管理者

向井 純子

夢ハウスは利用定員14名以下の地域密着型小規模デイサービスとして運営しています。

参加型
利用者様の体調不良による入院やコロナウイルスによる影響もあり定員不足ではあります。職員一人となり、頑張っています。

新しい取り組みとして

て、利用者様とメニューを決め午前中から調理を始め、できたお料理を職員と共にコミュニケーションをとりながら一緒に食べるという調理レクを月1回取り入れています。先月は、カレーを作りました。

それと共に、おやつレクの回数を週1

夢ハウスでは、それぞれの特性を活かし、利用者様一人ひとりのニーズに合わせたサービスを、スタッフが相談しながら提供させてもらっています。中でも、今は一緒に調理して一緒に食べる「調理レク」に力を入れています。作ることで「食べる」という達成感から免疫力をあげていきたいと思っています！

活動

共生

歩みを進んで行くことと思います。

目指す

楽しめるデイサービス作りを目指しています。自分の親、そして自分もが利用したいと思うデイサービスを



皆さんと一緒に下さりえ

回に増やし、生活リズムとして身体機能の向上、脳の活性化コミュニケーションの促進を目的としました。

利用者様

からは、「楽しかった！」「美味しかった！」と大好評でした。



調理レクの様子



準備万端

現場で学び、育つ

ケアマネとして目指す事

介護支援専門員 河野 一彰



居宅介護支援事業所どりーまあ徳島へ入職しケアマネジャーとして活動し始めて1年と9か月経ちました。これまではグループホームや訪問介護で直接援助者として目の前の人に関わっていましたが間接援助者として関わる事に対して戸惑う事ばかりで利用者様・家族さんのみならず周りの専門職の方々に支えられて今日を迎えています。

今もケアマネジメントとは何かと自問自答する日々を送っていますが、目の前の人の笑顔が自分やその人を取り巻く全ての人の笑顔や新たな目標に向かう力を与えてくれる事を日々実感しています。

支援する側、される側と分けるのではなく、共に寄り添いその人らしい姿を目指す事を目標にこれからもケアマネジャーとして活動して行きたいです。



現場の報告会

Care Manager

介護支援専門員

どりーまあ徳島

主任介護支援専門員

遠藤 紀子



点から線へ、線から面へのマネジメント

ケアマネジャーは、サービス調整やアドボカシー(代弁)の役割が求められています。スムーズな橋渡し役を果たすためにも、介護・看護を始めとする全ての部署とのつながりがとても大切です。また、ケアマネジャーが課題を抱えてしまっているところ、同じ立場の者同士で支え合っていくことも大切です。

その中でも、目の前の利用者様の課題は地域の課題でもあるということ、目の前の利用者様への個別支援だけでは、支援を必要とする方が地域で増えていくことを予防することにはならないという「地域支援」という学びは大きかったです。日々、在宅をまわりながら利用者様との方が住む地域と両方を視野に入

れて実践していきたいと考えています。

受講生の方たちに励まされ、充実した時間を過ごすことができました。仕事に取り組み新しい視点を獲得することができました。

昨年度、主任ケアマネ研修を修了しました。見識深い講師の方や前向きに仕事に取り組む



サービス付き 高齢者向け住宅 「レスポワール」

コロナ禍の影響で施設内の様々なイベントを中止せざるを得ない状況にありますが、その中であっても、スタッフたちで知恵を絞り、利用者様に喜んでもらえるような企画で、生活の充実を実感してもらえるよう、努力を続けています。



まずは対話から

日々の活動の上において『同じ明日はない、今を大切に全力で！』をモットーに取り組んでいます。これからも利用者様に寄り添い、真摯に向き合っています。

オールフレイルの改善に向けた取り組みも続けています。利用者様とのコミュニケーションを大切にしながら、楽しく活動させて頂いています。現在、法人の3施設で活動していますが、様々な症例の違いはありますが共通している事は、人生の先輩である利用者様の方々から学ぶ事は多く、自身の活動源になっているという事です。

音楽療法



奏でる音色から伝える

音楽療法の活動を始めて約10年、益々高齢化が進む現代社会において音楽療法に求められるニーズは多岐にわたるのではないかと考えられます。

3年前より

Point

自己実現

情緒の安定

機能回復

音楽療法士

森永エミ子



ヘルパーステーション たすけあい沖洲



介護未経験の私が沖洲事業所に勤務し始めて数ヶ月が過ぎました。まだまだ経験が浅く、毎日が必死です。

実務者研修 松島 仁美

1日1日を大切に

介護知識やスキルはまだ私ですが、介護職のプロとして自己研鑽を重ねていきます。もう1つのこだわりは、チームワーク良く活気があり職員皆が気持ち良く働ける職場創りを目指す為に、創意工夫をする事。事故防止や抑制にも繋がり、きめ細やかな介護現場になっていくと考えています。



1つ1つを丁寧に

経験なので、最初は覚える事が沢山あり大変だったのですが、それ以上にやりがいの方が大きいことを実感しながら今に至っております。介護実務に対するこだわりは、お世話をする際に利用者様のご家族が隣にいられる事を想定して介助・介

デイサービスセンター 夢ガーデン



実務者研修 田淵 真一

私のこだわり

どリーまあサージス沖洲事業所に入職してやがて1年になるうとしていきます。介護職は初めての



モットーは全力投球

そんな中で忘れられない出来事がありました。居室へお伺いした時、不慣れでぎこちない笑顔の私に表情を曇らせてしまう利用者様……。どうすれば良いのか、行き詰まり長年の親友に相談してみると「不器用でも、その人がどんな気持ちでいるかは伝わる。目の前の人をどれだけ大事に思えるかでないかな？」と言ってくれました。

それから毎日のお声掛けを大切にお世話させて頂いていたある日、鏡の前で利用者様の髪を整えさせていただいた後「ありがと、ありがと」と瞳を潤ませながら言ってくれた姿に、思わず目頭が熱くなりました。これからも一日一日を大切にしていきます。

夜勤者ミーティング

毎月1回定期で開催している夜勤者ミーティングですが、話し合う度に、業務内容の見直しや、マニュアルの作り変え等の必要性がでてきます。

ひとつのケアレスミスが利用者様へのケアの不一致につながり得ることもあります。日勤・夜勤がかわらず、凡事徹底の実践のためにも、ケア内容を共有するための会議は大切な場となります。



夜勤業務もチーム力から

コロナ禍ではありますが、体力・知力を維持し、よりよく暮らすことをモットーにサポートをさせてもらっています。面会・外出の制限があったり辛さを感じられることも多々あるかと思いますが、そのストレスを吹き飛ばせるように、スタッフ一同奮闘しています！

共に
生きる

サービス付き 高齢者向け住宅 「レスポワールⅡ」

食を楽しむ

人が幸せを感じる「食」を大切にしています。美味しい物を食べたら皆さん笑顔になります。川内事業所では、「食」の中でも、「食べるまでの過程」「季節感」を大切にしてほしいとおやつレクを行っています。七夕の時には、青と黄色のゼリーを作りました。また、「三お好み焼きを作った時には、金時豆を入れて徳島の味を感じました！



私に任せときい♪

作りながら、食べながら、幼少期の七夕の話、お好み焼の思い出話など、いつもより盛り上がるのも食べることのいいところですね！
これからも、楽しく作って、楽しく食べていきたいと思っています！



手さばきは現役並みです

専門職を貫く

介護福祉士 川口 稚加

サービス業を長くしていました。が、「手に職を！」「これからは介護だ！」と思い、介護の仕事を選びました。サービス業も楽しいですが、介



目標に向けて真っしぐら

人の役に立つ仕事が見たいと思って、ネットを見ていたら介護の仕事を見つけ、「これだ！」と思い、介護の仕事を始めました。利用者様は1人1人違うので、好きなこと、嫌いなこと、その

実務者研修

河野 芽衣

チャレンジの毎日に感謝



百万ドルの笑顔が大人気!!

護の仕事にはまた別の楽しさがあります。元々人と接することが好きなんです。色々な利用者さんとのコミュニケーションが楽しいです。何気ない日常の会話から関係を築いていく過程が楽しいですね。私のことを孫のように「可愛いな」と言ってくれる利用者の方も多いです。そんな時はこの仕事を選んで良かったと思います。仕事の大変さが吹き飛ぶ瞬間です！
また、今年、介護福祉士の資格を無事に取得しました。これから、もっと経験を積んで介護支援専門員の資格取得を目指しています！

食を支える



「味」の議論はつきません

食生活の充実、は、利用者様の生活の満足度や生きがいにつながっています。それだけに毎月1回開催される給食会議は毎回熱が入り、議論も尽きません。盛り付け方から始まり、メニューや味付け等、少しでも満足に結び付けられるように頑張っています。

方の今までの人生などについて、その人をよく知って、気持ちに寄り添うことを大切にしながら仕事をしています。ありきたりかもしれないですが、利用者様や家族様に「ありがとう」と言ってもらえた時、この仕事をしていてよかったなと感じます。

どリーまあは、みんな優しいので、思っていることや意見が言いやすい職場です。私もより良くなるように「こうしたらどうですか？」と提案させてもらうこともあります。
今はコロナ禍で旅行に行けないのが残念ですが、コロナが収束したら、友だちと色んなところに行きたいです！



児童デイサービス



どリーむキッズ



心のケアは 環境から

「わぁーキレイ☆」「もうこんな季節なんですね。」など楽しみにしていただいております。お迎えにこられたご家族からも、

「ゆーきやこんこんり、またその一言に支えられて頑張っています。今はスタッフたちも「クリスマス



季節を楽しむ

毎月、子どもたちをお迎えするお部屋には、色とりどり、季節折々の壁面装飾で楽しんでもらえるよう工夫しています。

直接的なお世話だけでなく、部屋の雰囲気には常に気を配っています。これも環境ケアという大切なケアのひとつです。

今年のコロナ禍は、児童デイを利用していただいている子どもたちにとっては、生活を脅かす毎日であり、ご家族も不安な生活を強いられています。その中でも明るく前向きに過ごされている子どもたちに、生きる勇気を感じながらケアにあたらせていただいております。それだけに、責任を持って衛生管理と感染症対策を今二度徹底していかなければなりません。



状況把握も大切な業務

保育士の力を 活かす

保育士 小川 智美

「お集まり」という皆で集まって活動する時間では、季節に合った歌や手あそび、ペープサートを行います。子どもさんそれぞれに好きな歌があり、ピアノが聞こえると自然と声が出て、笑顔になります。私はその瞬間がこの仕事をやっていて良かったなと思います。オムツ替えやお着替えにしても子どもさんの負担にならない様、丁寧に行う事を心掛けています。私はどリーむキッズが「第2の家」として安心して家庭的な雰囲気の中ゆったり過ごせる様、どリーむキッズの職員全員で作って行けたらいいなと思います。



今年もがんばるよ!

マスはどうしようかな。」とか「かわいいお正月飾りをしたいな。」など話し合っているようです。

きっかけは「子どもが好き」からです

保育員 郡 美涼

どリーむキッズに入職して2カ月がたちました。重症心身障害児という初めての職場で毎日分らないことばかりで周りの先輩方や看護師さんたち



こどもクリスマス

令和元年の「子どもクリスマス会」は、職員の手作り満載のプログラムで企画させていただきました。例えば、平成22年から始めたこの会ですが、第1回目から第3回目までは、ささやかな会からの始まりであっただけに、懐かしくもあり、新鮮な雰囲気でも子どもたちやご家族たちも楽しんでいただけました。また、ご家族同士の交流の場としても活かしているようです。



今年も楽しかったね



みんなでハイチーズ!

ご家族、子供さんが安心してご利用いただけるように先輩方や看護師さんと力を合わせて頑張っています。



子どもに温かい眼差しに教えていただきながら色々なことを学ばせてもらっています。子供たちひとり一人の個性やペース、体調にあわせて丁寧に対応することができるようになっています。食事介助や読み聞かせ、歌の時間や遊びにオムツ交換、それぞれの時間にいろんな表情をみせてくれる中で笑顔がみられたときは本当にうれしいですし、自然と笑顔になります。

児童サービス



どリーむキッズ よしの川



を細めたり
されていま
す。これから
もメニューを
考えて続け
ていきたいと
思います。



わあ!おいしそう

活動と参加

子どもたちとおやつ作りをして、一緒に食べたりしています。
みんな自分たちの手作りなので、ま
んざらでもない様子です。
中には、「○○くんが作ったのより
私の方がおいしいわ。」など、味自慢を
したりして明るく楽しんでます。
そういうこともご家族にご報告す
ると、驚かれたり、また我が子の成長
に目

おやつ作りは大人気

事業所が開設されて1年が過ぎたところ
です。
これまで様々な方に、ご指導をいただきな
がら運営してまいりましたが、まだまだこれ
から様々な勉強を積み重ねていきながら、地
域に貢献できる事業所に成長していきたいと
考えております。
紙面を通してこれまでの1年を振り返って
みたいと思います。

自然にふれる ひと時



みんなでお花見楽しいうれしいな

ちと一緒にのびのびと活動できる
ことも楽しみなのかもしれませ
ん。
また、季節に応じた場所を選
び、さわやかな風ときれいな景
色を共有できることが集団活動
に活かされているようです。



水がキレイなあゝ

外出は子ども
たちにとって
は、遠足みたい
な一日です。部
屋でいる時と
は、全く違う
表情を見せて
くれたりもし
ます。
外出もさる
ことながら、お
友達やお姉さ
んお兄さんた
ちと一緒

運動公園など
では、普段みか
けない能力を発
揮し、満面の笑
顔でみんな楽し
く遊びに熱中し
ています。
また、疲れた
様子を見せるお
友だちのことを
気遣う場面も
みられたり、み
んなを笑わせてくれるムードメーカーも現れ
たりで、ひとりひとりの新しい発見が楽し
みです。

屋外での活動で命を育む



グラウンドで大はしゃぎ



体操教室

徳島市元気高齢者づくり事業

新型コロナウイルス感染防止のため、今年の2月末から今現在(令和2年9月現在)担当6教室が中止になっています。皆さんと一緒に喋りしたり、体操ができないことがとても残念です。皆様、コロナに負けず自分ができる体力づくりを続けてください!今回は、5名の指導員さんから皆様にメッセージをもらいました!



橋本 博美
(内町・丈六担当)

皆さん、元気になってますか?体調は大丈夫?早く会いたいね。お喋りしたいね。一緒に笑いながら、体操できる日を心から待っています。もう少しだけガマンで日々、頑張ろう!



辻 清江
(沖洲・昭和担当)

辻で〜す!皆さんお元気ですか?早く皆さんに会いたくて短い首を伸ばして待っています!もう少し待っていて下さい。



美馬 柱子
(内町・昭和担当)

長くお休みが続きいかがお過ごしですか?今までコツコツと体力づくりに励まれて、元気ハツラツの皆様と、また楽しく運動ができることを願っています。



児島 共子
(沖洲・不動担当)

お元気ですか?もう少し待って下さいね。頭、体、舌も動かし、家の中を綺麗に、お掃除に、この時期励むのも!皆様に逢える事を楽しみに待っていますので!



吉永 美紀
(南井上・沖洲担当)

元気ですか?長い休みウォーキングしてますか?寝るより座る。座るより立ち。足を動かしましょう。季節の変わり目、体調気を付けて。会える日を楽しみに!



10月中旬から、一部の教室が再開しました!感染防止に配慮しながら、体操をしていきたいと思っています。



おひな祭りの飾り花



脳トレで介護予防



作品づくりに懸命



今回は、おきのすサロン参加者の方に近況をお伺いしました!コロナ禍が落ちつき、皆さんと会える日を楽しみにお待ちしております!

仁木禮太郎 様

新型コロナウイルスが流行する中、記録的な猛暑による熱中症に気を付けてこまめな水分補給と適度なエアコン活用で日々を過ごしております。

最近、通っていた近所の食料品店が閉店してしまい、少し離れた別の食料品店に買いだめに行っている為、少し不便を感じています。

板東志津子 様

新型コロナウイルスのためにおきのすサロンは中止中ですが、お庭の草取り、編み物、帽子作り等で毎日変わらず忙しくしています。



新型コロナウイルス感染拡大防止のためおきのすサロンは令和2年2月22日(土)を最後に中止しております。
中止前2月22日(土)のおきのすサロンでは、オアシスに桃の花とランとかすみ草、カーネーションの生花をバランスよく挿し、最後に折り紙で作った扇を差し込んでお雛様の飾り花が完成させました。



ソーシャルディスタンスでの研修会場

感染予防は知識取得から

令和2年7月30日(木)、今年度3回目の職員研修会に参加しました。今回のテーマは感染症です。新型コロナウイルス感染症対策について、徳島赤十字病院感染管理認定看護師の角谷美千代先生にお越しいただき、講義していただきました。

現在、新型コロナウイルス感染症によって危機的な状況に陥っています。Withコロナ時代となってきた今、

根拠のない恐怖や、無知により間違った行動をとらない様、新型コロナウイルス感染症についてよく知る事、学ぶ事、そして考えることが必要です。

講義の中で「3密」にならない事、「基本の徹底」が何より大事だということを確認しました。また、手洗い、うがい、マスクの着用等、常日頃から当たり前の事を面倒くさがらずに徹底して実施することが大切だと感じました。

続けることが一番簡単で、一番難しいことだと思いましたが、意識すること、一人一人が自分や大切な人を守る事に繋がっていくと思いました。

研修レポート

法人内研修

感染症対策研修

新型コロナウイルス感染症

(COVID-19)対策

講師 徳島赤十字病院 感染管理認定看護師 角谷美千代様



ヘルパーステーションたすけあい
サービス提供責任者

齋藤 美香

Withコロナの第一歩



やってみよう!はじめてのオンライン会議II

令和2年9月27日(日)

Web会議サービス「ZOOM」を

使用してのオンライン会議の方法

講師 NPO法人JCIテレワークズネットワーク 村上 晶一様



NPOコーディネーター 臼杵 顕子

コロナ禍のため、今までのような集合研修や対面での会議は中止となり、離れていても参加できるリモート会議やオンライン研修が行われています。

そのため、オンライン会議について学ぶために、とくしま県民活動プラザ主催の「はじめてのオンライン会議II」に参加しました。研修会では、実際にパソコンを持ち込み、ZOOMを使って行われました。ZOOMのリモート研修会に参加したことはありましたが、自分がホストとなり会議を主催したことがなかったので、その場合の操作について学ぶことができたことはとても有意義でした。また、資料を示しながら話をする方法や、ZOOMの利用方法についても教えて頂きました。分かりにくいところも講師の先生がゆとり説明をしていただいたので、遅れることなくしっかりと学ぶことができました。本研修で学んだことを活かして、当法人でも職員研修会や会議をオンラインで行っていきたいと思っています。

また、実際にZOOMを使ってみて学ぶことも多いと思いますので、公私ともに使う機会を作っていきたいと思っています。

そして、オンラインで会議や研修をすることは、Withコロナ時代となり必要なことになりましたが、場所に縛られることなく、移動時間等のロスもない、オンライン会議は、コロナが収束した後も、活用していくべきと思いました。

令和2年度 人材育成プログラム

月	法人研修	きほんの「き」研修	次世代育成研修	幹部研修
4月				
5月	職業倫理とOJT		次世代育成研修	
6月		介護保険概論		第1回幹部研修
7月	虐待防止・身体拘束			
8月		訪問介護	次世代育成研修	
9月	感染症対策 ～インフルエンザ・ノロウイルス等～			第2回幹部研修
10月		通所介護		
11月	事故対策防止と記録		次世代育成研修	
12月		訪問看護・居宅介護支援		第3回幹部研修
1月	認知症ケア			
2月		障がい福祉・福祉用具	次世代育成研修	
3月	事故防止・身体拘束			第4回幹部研修

令和2年度 委員会構成

◎委員長 ○副委員長

研修委員会	◎麻野 ○山口拓	幹 部	◎竹原 (本部)	○杉本 (本部)	兒島 (訪看)	麻野 (児童)
		法 人	◎松長 (北佐古)	○遠藤OT (訪看)	齋藤 (末広)	河野 (居宅)
		基 礎	◎福本 (川内)	○山口拓 (北佐古)		
		次世代育成	◎山口 (理事長)	○松本 (沖洲)	福居 (末広)	
	防災対策 委員会			◎森 (沖洲)	○丸山 (本部)	福本 (川内)
感染症 労働安全衛生 委員会			◎濱田NS (訪看)	○清水 (川内)		
身体拘束 虐待防止 委員会			◎影浦 (居宅)	○西根 (沖洲)	北村 (川内)	
事故防止 委員会			◎向井 (末広)	○濱田OT (訪看)	井川 (沖洲)	河野 (川内)
地域包括推進 委員会			◎竹原 (本部)	○山口拓 (北佐古)	麻野 (児童)	